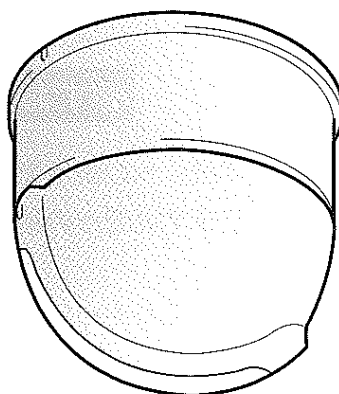


UNI-PEX

取扱説明書

カラードームカメラ

VCC-202



このたびは、カラードームカメラをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

工事店様へ

この取扱説明書には、ご使用方法・安全上のご注意・保証書などが記載されていますので施行後、お客様に必ずお渡しください。

目次

安全上のご注意	1~2
1. 外観図	3
2. 定格	3
3. 各部の名称と働き	4~6
4. 設置のしかた	7~14
4-1. 設置・調整のしかた	7~11
4-2. 同軸ケーブルの接続のしかた	12
4-3. カメラ制御装置	13
4-4. 使用時のご注意	14
保証とサービスについて	15

安全上のご注意


安全にお使いいただくために


必ずお守りください

この「取扱説明書」および製品（本機）への表示では、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。


ご使用前によく読んで大切に保管してください。


次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。


 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

 △は、注意（警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「感電注意」を示します。

 ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「分解禁止」を示します。

 ●は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜け」を示します。

⚠ 警告

設置作業時以外は、機器の、裏ぶた、キャビネット、カバーは、
外さないでください。
内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。

分解禁止



機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないで
ください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止



機器に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用、および天井の水漏れには、特に
ご注意ください。

禁止



風呂場では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、同軸ケーブルや電源プラグには触れないで
ください。
感電の原因となります。

接触禁止



⚠ 注意

湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁止



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に設置
しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁止



設置および配線工事には経験と技術が必要ですので販売店にご相談
ください。

注意



太陽光など強い光の当たる場所に設置しないでください。
光が焦点に集まって火災になる場合があります。

注意

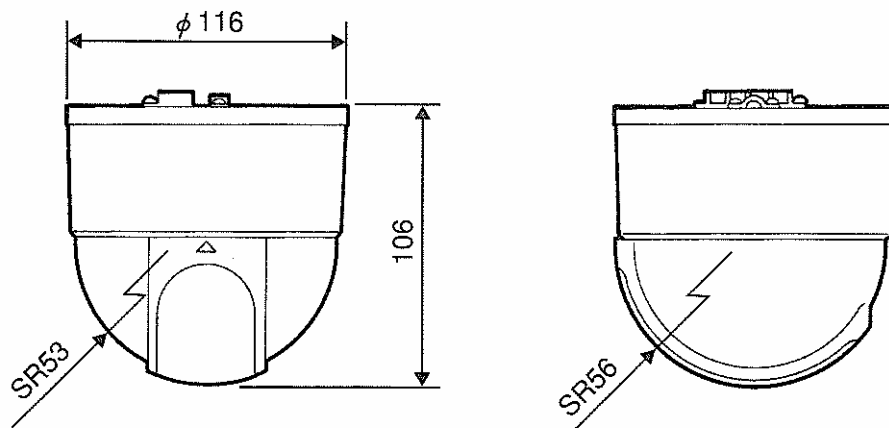


付属品を口に入れたり、飲み込まないでください。
けがや窒息の危険があります。

禁止



1. 外観図



単位：mm

2. 定格

項 目	内 容
使 用 電 源	専用コントローラよりDC電源を供給
消 費 電 力	4.3W
撮 像 素 子	1/3インチ カラーCCD
有 効 画 素 数	水平768 垂直494
撮 像 サ イ ズ	水平4.88mm 垂直3.66mm
走 査 方 式	2:1インターレース
走 査 周 波 数	水平15.734kHz(内部同期時) 垂直59.94Hz
同 期 方 式	内部同期/V同期
解 像 度	水平470TV本 垂直350TV本
S / N	48dB以上
標 準 被 写 体 照 度	150lx (F1.4 白熱灯)
最 低 被 写 体 照 度	3lx (感度「入」時) (F1.4 白熱灯)
A G C	内蔵
感 度 ア ッ プ	あり(スイッチ切換)
ホ ワ イ ト バ ラ ンス	自動追尾/手動/プッシュ
フ リ ッ カ 補 正	あり(スイッチ切換)
逆 光 補 正 (B L C)	あり(スイッチ切換)
マ イ ク	あり(スイッチ切換)
マ イ ク 感 度 ア ッ プ	あり(スイッチ切換)
ア イ リ ス レ ベ ル 調 整	あり(ボリューム調整)
設 定 メ ニ ュ ー (オンスクリーンディスプレイ)	AGC、ホワイトバランス、BLC、電子シャッタ、クロマ、輪郭、 DCLレンズ制御等の設定
カ メ ラ 出 力	ピンジャック VBS 1V(p-p) 75Ω
カメラ出力(コントローラへ)	同軸ケーブル用ねじ端子
レ ン ズ	F1.4 f=2.8mm~6mm
画 角	水平 47°(TELE)~96°(WIDE) 垂直 36°(TELE)~72°(WIDE)
ア イ リ ス	自動
外 観 色	本体:白(マンセル5GY8/0.5近似色) カバー:白
外 形 寸 法	直径116mm 高さ106mm
質 量	約0.5kg
動 作 周 囲 温 度	-10℃~50℃
動 作 周 囲 湿 度	30%~90%(結露なきこと)

3. 各部の名称と働き

① 取付金具

天井または壁に取り付けます。

② フック (3カ所)

本体を仮止めします。

③ 本体

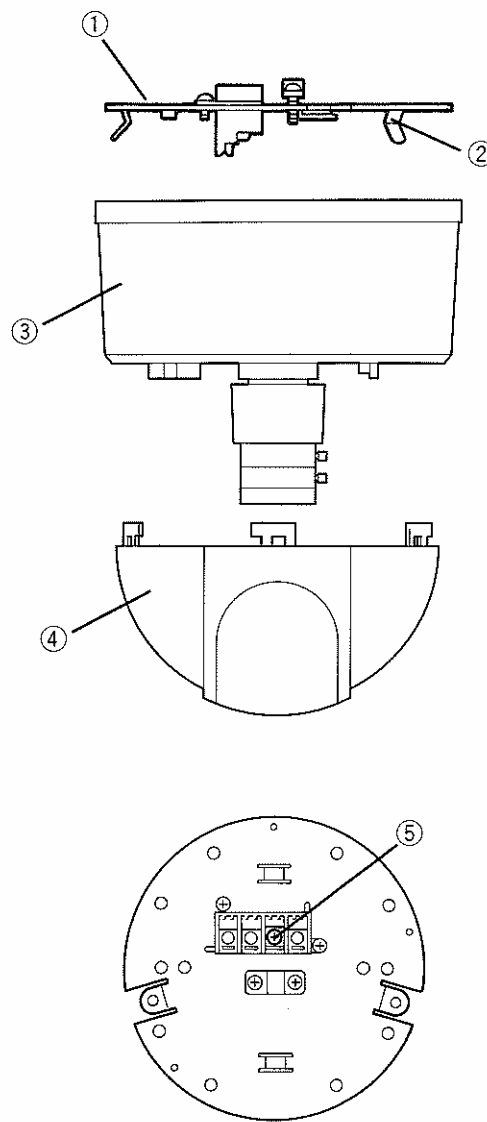
カメラ部本体です。

④ ドームカバー

カメラ部の保護カバーです。

⑤ カメラ出力 (コントローラへ)

専用コントローラと接続します。



⑥チルト固定ねじ

映像の上下方向を調整後、固定します。

⑦パン固定ねじ

撮影の左右方向を調整後、固定します。

⑧ズームリング

撮影のサイズを調整するとき、このリングを操作します。

⑨フォーカスリング

焦点を合わせます。

⑩カメラ出力（ピンジャック）

映像出力端子です。撮影方向・画角・焦点を合わせるときに、モニタテレビなどを接続します。

※接続する場合は、必ずマイクスイッチを"切"にしてください。

"入"で使用すると映像に乱れが生じる場合がありますのでご注意ください。

⑪ALC調整ボリューム

映像の明るさを調整します。

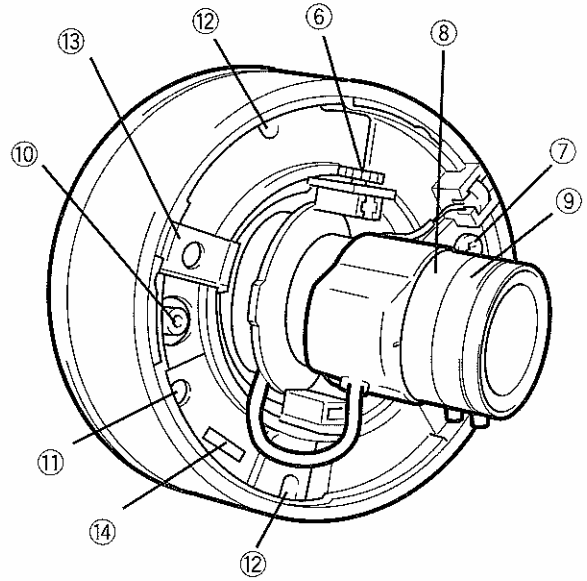
⑫本体取付ねじ

本体を取付金具に固定するねじです。本体の取付金具側に付いています。

⑬補強板

カメラ部と共に回転します。

※設定したパン方向により、切換スイッチやモニタプラグに干渉する場合があります。スイッチやプラグをよけてスライドしてください。対処後は必ずスライドのほぼ中央位置まで戻してください。



⑭ 切換スイッチ

a. フリッカレススイッチ ※1

電源周波数50Hz地域の照明下で使用するとフリッカが発生することがあります。フリッカが目立つ場合は、スイッチを"入"に切換えます。

※スイッチが"入"のときは、感度が低下します。

b. 逆光補正スイッチ ※1

逆光のとき、被写体が黒くつぶれないように補正するスイッチです。逆光のときスイッチを"入"にします。

※電子シャッター「AUTO」時、あるいはオートアイリスレンズ使用時（電子シャッター固定時は除く）のみ、この機能は働きます。

※周辺部とのコントラスト差が大きいときには、十分な効果が得られない場合があります。

c. 感度アップスイッチ ※1

周囲の明るさが変わっても、映像出力レベルを自動的に調整するAGCのゲインを"切"（12dB）、"入"（18dB）に切り換えることができます。

※1 OSD（オンスクリーンディスプレイ）でMEMORYを選択した場合、OSDの設定が優先されスイッチの設定は無効になります。

d. V同期スイッチ

内部同期からV同期に切換えます。

コントローラからのV同期信号に外部同期します。

※スイッチが"入"の場合には、OSD（オンスクリーンディスプレイ）による設定ができなくなります。設定の操作を行うと映像に乱れが生じますのでご注意ください。

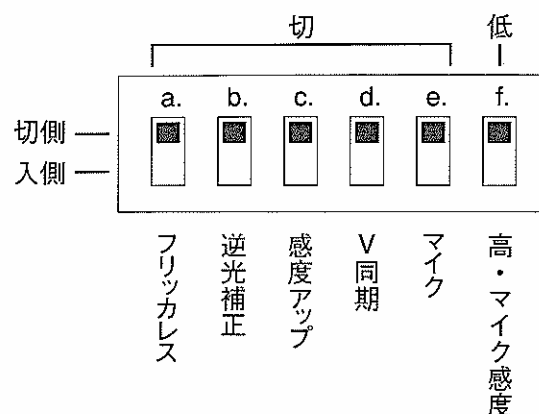
e. マイクスイッチ

内蔵マイクを使用するとき"入"、内蔵マイクを使用しないとき"切"にします。

※音声入力機能付コントロールユニット以外を使用するときは、"切"にしてください。

f. マイク感度切換スイッチ

内蔵マイクを使用しているとき、スイッチを"高"にするとマイクの感度が上がります。



(図は工場出荷状態を示します。)

4. 設置のしかた

4-1 設置・調整のしかた

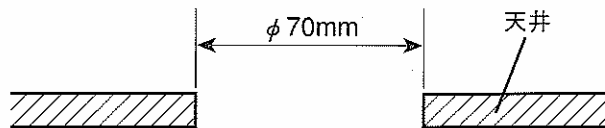
(1) 取付面に丸穴をあけます。

- ・天井または壁へ直接取付けるときは取付面に $\phi 70\text{mm}$ の穴をあけてください。

※穴があけられない場合、別売の壁取付金具を使用してください。

- ・ボックス取付の場合は、使用するボックスに合わせた穴をあけてください。

(図1)



(図1)

(2) 同軸ケーブルの先端処理後、同軸ケーブルを取付金具に取付けます。

※同軸ケーブルの先端処理については、P.12を参照してください。

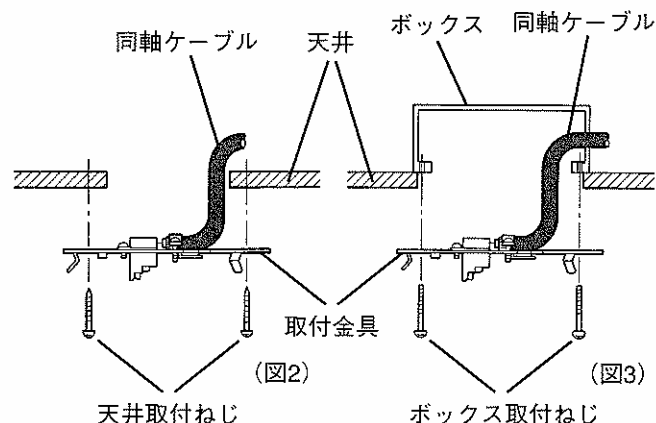
(3) 付属のねじで、取付金具を取付面およびボックスに固定します。(図2) (図3)

- ・天井に取付けるときは、取付金具の△マークを映したい方向に向けてください。
- ・壁面へ取付けるときは、取付金具の△マークを下側にしてください。

※取付面の材質がもろく、取付ねじで固定できない場合、カメラが落下する恐れがあります。その場合は、別売の天井埋込金具を使用してください。

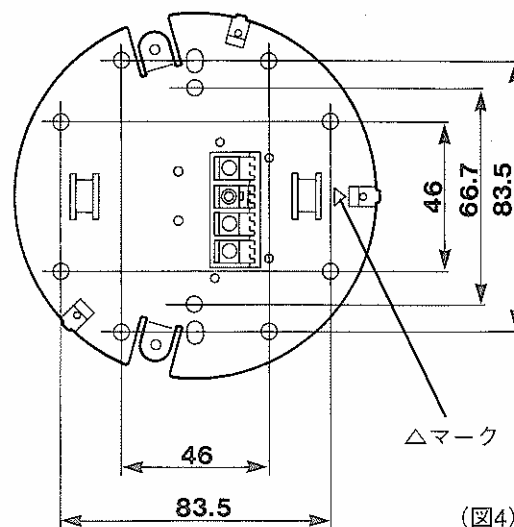
※天井または壁に取付けるときは、確実に固定するために、ねじを4本使用してください。(図4)

※同軸ケーブルを傷つけないようにしてください。



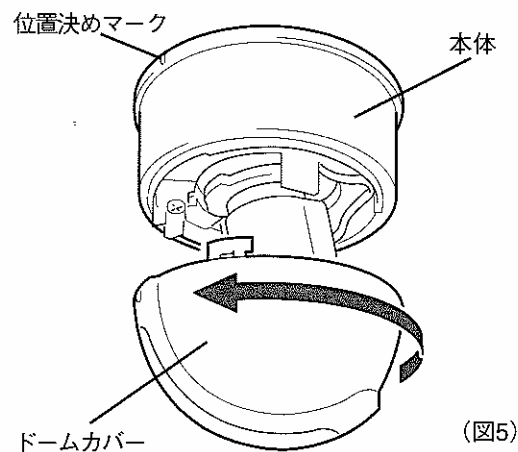
(図2)

(図3)

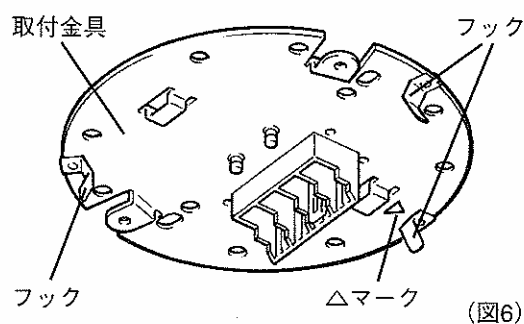


(図4)

- (4) 本体のドームカバーを外します。
反時計方向（矢印方向）に回すと、取りはずせます。（図5）

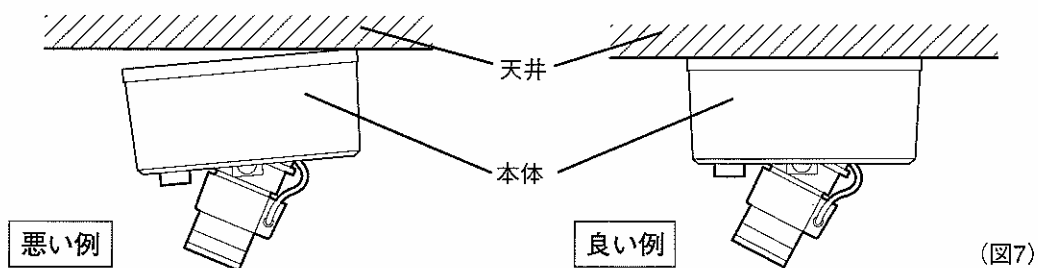


- (5) 本体を取付金具に取付けます。
本体の位置決めマークと取付金具の△マークを合わせて、本体を押し込みます。
取付金具のフック（3ヵ所）に本体が確実に引っかかるようにします。（図6）



横から見て、本体と取付金具が平行になっていることを確認してください。（図7）

※ 平行になっていないとカメラが落下する恐れがあります。



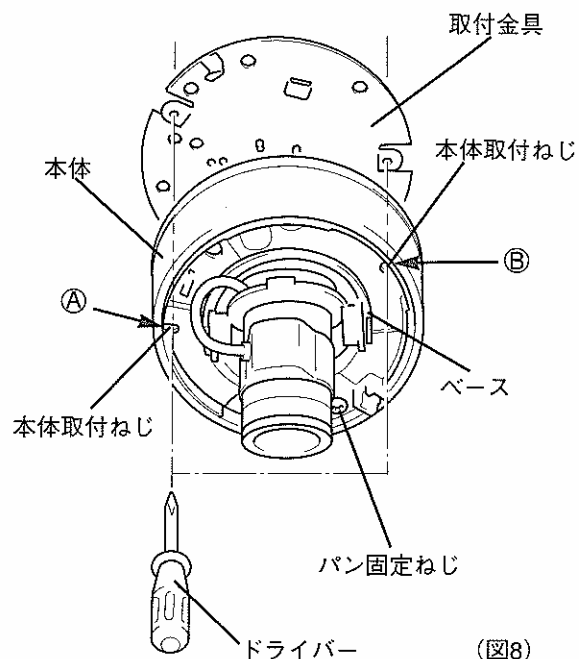
- (6) 本体に付いている本体取付ねじ (2本) を締めて、本体を取付金具に固定します。

(図8)

※ ①・②の切欠が本体取付ねじに合っていることを確認してください。切欠が合っていない場合、パン固定ねじを緩め、ベースを回して、①・②の切欠を合わせてください。

切欠を合わせないとドライバーが入らず、本体を固定することができません。

※ 本体取付ねじは必ず締めてください。



(図8)

- (7) モニタを見ながら、撮影方向を合わせます。

・左右方向 (図9)

パン固定ねじを緩め、ベースを左右に回して、左右方向を合わせます。方向を決めたら、パン固定ねじを強く締めます。

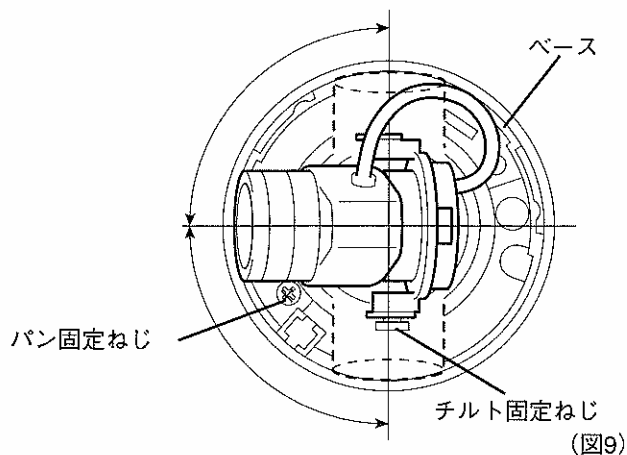
※ しっかり締め付けないと、ドームカバーを取り付けるときに、ベースが回転してしまいます。

※ パン固定ねじを脱落させないでください。

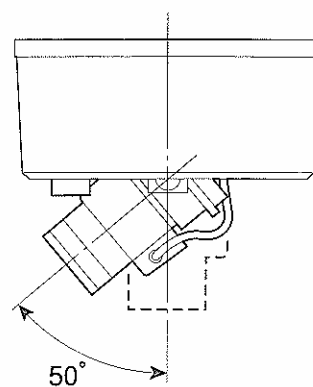
・上下方向 (図10)

チルト固定ねじを緩め、上下方向を合わせます。方向を決めたら、チルト固定ねじを締めます。

※ チルト固定ねじは手で締めてください。ペンチなどで締めると壊れることがあります。



(図9)

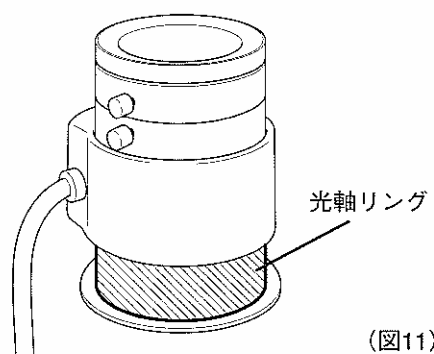


(図10)

(8) 光軸を合わせます。(図11)

光軸リングで撮像の傾きを直します。

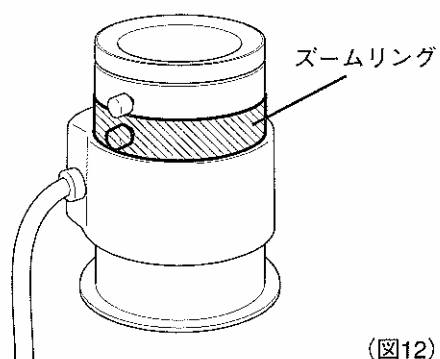
※必ず光軸リングを持ってください。



(図11)

(9) ズームリングで、画角を合わせます。

(図12)

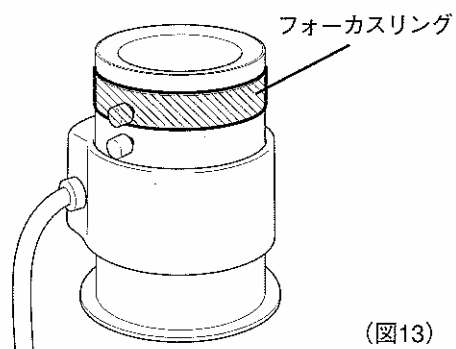


(図12)

(10) フォーカスリングで焦点を合わせます。

(図13)

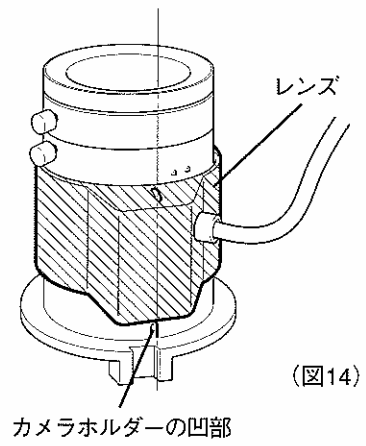
※画角を合わせてから、焦点を合わせてください。



(図13)

(11) レンズの「I」マークとカメラホルダーの凹部を合わせます。(図14)

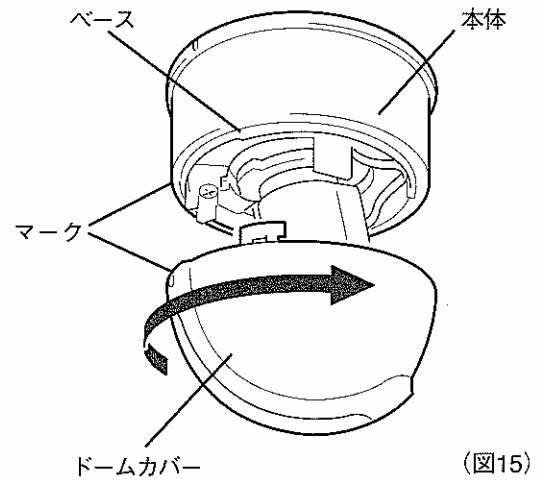
※ レンズの位置により、ドームカバーが取付けられない場合がありますので、必ず合わせてください。



(図14)

(12) 本体にドームカバーを取付けます。
ドームカバーとベースのマークを合わせて、時計方向 (矢印方向) に"カチッ"という音がするまで回します。(図15)

※ マークを合わせないとドームカバーは取付けられません。



(図15)

4-2 同軸ケーブルの接続のしかた

- (1) 同軸ケーブルの先端処理をします。(図16)
- (2) 同軸ケーブルを取付金具の端子に接続します。

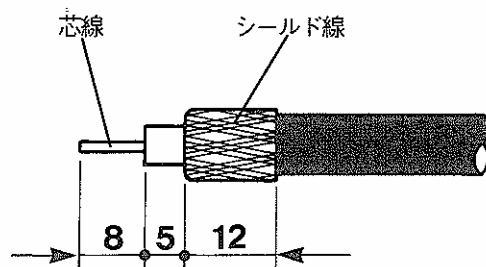
芯線は芯線固定金具に差し込み、ねじ止めします。シールド線は同軸ケーブル固定金具にねじで固定します。(図17)

※ 同軸ケーブルを取付面に這わせるときは、別売の壁取付金具をご使用ください。

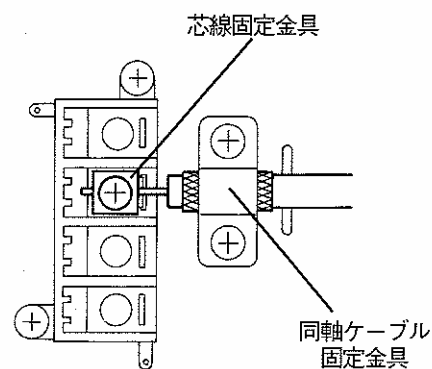
- (3) 同軸ケーブルを天井裏へ押し込み、たわみをなくします。

※ 本機とコントローラの接続ケーブルには、電源、映像信号、同期信号が多重されていますので、ケーブル補償器、映像分配器などをケーブルのに入れて使用することはできません。

※ 本機とコントローラの最大ケーブル長は、使用する同軸ケーブルの種類によって違います。コントローラ取扱説明書に従ってください。



(図16)



(図17)

4-3 カメラ制御装置

カメラの設定は、専用コントローラによってモニタテレビに表示されるカメラセットアップ画面より設定します。

操作手順

- (1) 各専用コントローラの操作手順に従ってカメラセットアップ画面に入ります。
カメラセットアップ画面に入る方法はコントローラにより異なりますので、コントローラの取扱説明書をお読みください。
- (2) ▲▼でモードを選択し、▶を押します。
- (3) ▲▼でアドレスを選択します。
※ COLORモードの場合は、アドレスを選択し、▶を押し▲▼でデータを選択します。
- (4) 必要な設定が終了したら▲▼で「END」を選択し、▶を押します。
- (5) ▲▼で「MEMORY/CLEAR/CANCEL」を選択し、メニューキーを押します。

××CAMERA SETUP××		
WB	ATW	
SHUT	OFF	
BLC	OFF	
IRIS	0 0	
AGC	1 2 dB	
APCON	0 0	
COLOR	AWB-R	0 0
END	MEMORY	

(モード) (アドレス) (データ)

1. ホワイトバランス (WB) (出荷時設定：ATW)

色温度3200Kから8000Kの範囲内の照明に対して、自動または手動でホワイトバランス調整ができます。

- (1) ATW : 自動色温度追尾モードを設定します。照明が悪い場合は、ホワイトバランスが調整できない場合があります。
- (2) AWC : ホワイトバランスをワンプッシュで合わせたいときに使用します。
コントローラのメニューキーを押すことにより調整されます。
AUTOモードよりも正確に調整することができます。
このモードは、色温度の変化が少ない場合の撮影に効果的です。
- (3) 3200K、4200K、4700K、6300K :
各色温度に固定されます。

※ (1)、(2)の詳細設定はCOLORモードにおけるAWB-R、AWB-Bで行います。
(3)の詳細設定はMWB-R、MWB-Bで行います。

2. 電子シャッター (SHUT) (出荷時設定：OFF)

電子シャッターの手動切換または自動切換を選択します。

- (1) OFF : 出荷時設定 (1/60秒)
- (2) FL-ON : フリッカレス
- (3) AUTO : 電子シャッターを自動的に切換えます。(※1)
- (4) 1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000 (※1)
: 各シャッタースピード (単位：秒) に設定されます。

※1 オートアイリスレンズ使用時は、このモードを選択しないでください。

3. 逆光補正 (BLC) (出荷時設定: OFF)

逆光補正は、背景に強い光 (スポットライトなど) があるときに被写体が暗くなるのを防ぎます。

- (1) OFF : 逆光補正なし
- (2) ON : 逆光補正がかかります。

4. アイリス調整 (IRIS) (出荷時設定: 00)

自動絞りレンズの明るさを調整します。

5. AGC (AGC) (出荷時設定: 12dB)

AGCの最大ゲインを調整します。0dB~28dBまでの8段階の中から選択します。

6. 輪郭補正 (APCON) (出荷時設定: 0)

輪郭補正のレベルを調整します。-6~9の中から選択します。

7. 色補正 (COLOR) (出荷時設定: 00)

- (1) AWB-R : UPすると画面全体での色の赤みが増します。(ATW、AWC時のみ有効)
- (2) AWB-B : UPすると画面全体での色の青みが増します。(ATW、AWC時のみ有効)
- (3) MWB-R : UPすると画面全体での色の赤みが増します。
(すべての固定色温度に対して有効)
- (4) MWB-B : UPすると画面全体での色の青みが増します。
(すべての固定色温度に対して有効)
- (5) RGAIN : 赤の濃さを調整します。
- (6) BGAIN : 青の濃さを調整します。
- (7) RYHUE : 赤の色調を調整します。
- (8) BYHUE : 青の色調を調整します。

8. END (END)

- (1) MEMORY : 設定値を記憶させ、カメラセットアップ画面を消します。
- (2) CLEAR : すべての設定を出荷時設定値に戻し、カメラセットアップ画面を消します。
- (3) CANCEL : カメラセットアップ画面を表示したときの設定値に戻し、カメラセットアップ画面を消します。

4-4 使用時の注意

- 1. 本機は、屋内でご使用ください。屋外には設置しないでください。
- 2. カバーが、ホコリなどで汚れたときは、柔らかい布で拭いてください。
アルコールやシンナーなどは、使用しないでください。
- 3. 画面の一部にライトなどの強い光があると、自動絞りが働いて画面が暗くなることがあります。
撮影方向の角度の変更または、ALC調節ボリュームで絞りを調整してください。

保証とサービスについて

●保証書について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間：お買上げ日から1年

●保証期間中に修理を依頼されるときは

お求めの販売店にご相談ください。保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

なお、この場合は必ず保証書をご提示ください。

ご連絡していただきたい内容は次のとおりです。

- ・ご住所・ご氏名・電話番号
- ・製品名・形名
- ・ご購入日（保証書をご覧ください）
- ・故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）


●保証期間経過後の修理

保証期間経過後に修理を依頼される場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

●お問い合わせ

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点はお買上げの販売店にお問い合わせください。

愛情点検	●長年ご使用の機器の点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により製品が劣化し故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを入れても映像が出ない。 ●コードを動かすと通電しないことがある。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像が消えない。 	➡
		<p style="text-align: center;">ご使用中</p> <p>故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。</p>

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニパック株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)